

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392900029
事業所名	グループホーム長寿の郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内清掃や防災訓練等地域行事には利用者と職員とが一緒になって参加し、交流に努めている。ボランティア団体チェリーの会の喫茶店での行事には3～4人づつ交代で参加し、事業所でのクリスマス会は町内回覧板で来所を呼びかけている。今年度は中学生の職場体験は申し込みがなかったが、実習生の受け入れは実施した。近隣の方が犬を連れて来たり、ボランティアの訪問も定期的であり、地域に開かれたホームとなっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年に6回、交代で市役所長寿課か地域包括支援センター職員、民生委員、介護相談員、家族代表、入居者代表などの参加を得て開かれ、事業所の様子を伝えたり、イベントや活動報告をしている。4月には薬に特化したかかり付け薬局制度導入について質問があり、入居者の健康管理面の強化を説明している。取組み内容に関する質疑応答も活発で、よりホームの実状の理解につながる内容となっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の医療連携プラン会議には定期的に参加している。何かあれば相談できる関係が構築されており、通常では入居困難者を担当機関との連携で受け入れした実例もある。研修や講習会の案内は掲示し、希望する職員が参加できるよう業務を調整し、同業者との交流や情報交換もできる貴重な場として位置付けている。介護相談員を受け入れ、運営推進会議にも出席している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見や要望は家族の面会時やケアプラン作成時に聞くようにし、状態の変化時は直ぐに電話連絡している。薬の購入方法について相談があり、検討の結果、ホーム薬局の利用に切り替え、負担を減らすよう改善に努めている。お花見やボランティア来訪といった行事とともに家族会を開き、庭の花植えを一緒に行ったりしている。ホーム便りは1年に4回発行していたが、パソコンでの発信に切り替えようと検討中である。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	○	○	○	○	○	◎	○			